



# 第54回 足立区政に関する世論調査 《概要版》

2025(令和7)年8月実施

足立区では、昭和47年から区民の方を対象とした世論調査を実施しており、今回は第53回となります。世論調査の実施にあたっては、多くの区民の皆様にご協力いただき心からお礼を申し上げます。調査結果は、区政運営のための基礎資料として今後の施策に活用してまいります。なお、「第54回足立区政に関する世論調査」の全容をお知りになりたい方は、区のホームページ、区内の各図書館及び区役所区政資料室でご覧いただけます。

今回の調査では、区政全体に対する【満足層】（「満足」+「やや満足」）は8割となり、平成25年の設問開始以降の最高値を更新する割合となりました。

区の取り組みで、満足・やや満足と感じている上位3分野は、「情報提供」「自然・緑化対策」「保健衛生対策」で、逆に、不満・やや不満と感じている上位3分野は、「交通対策」「都市開発」「住環境対策」となっています。

また、継続的に聴取している定住性について、【定住意向】（「ずっと住み続けたい」+「当分は住み続けたい」）は、令和3年調査で初めて8割台となって以降増加を続け、今回調査では8割台半ばとなっています。

- 定住性
- 大震災などの災害への備え
- 洪水対策
- 区の情報発信のあり方
- 健康
- スポーツ・読書
- ビューティフル・ウィンドウズ運動
- 環境・地域活動
- 「孤立ゼロプロジェクト」など
- 「SDGs」・「協働・協創」
- 区の取り組み

## 調査の概要

- ◇対象者 …… 18歳以上の区民
- ◇対象者の抽出 …… 単純無作為抽出法
- ◇対象者数 …… 3,000人
- ◇調査方法 …… 郵送配布、郵送またはインターネットによる回答
- ◇回収数(率) …… 1,375人 (45.8%)
- ◇調査時期 …… 2025(令和7)年8月

足立区 政策経営部 区政情報課  
令和8年3月 発行

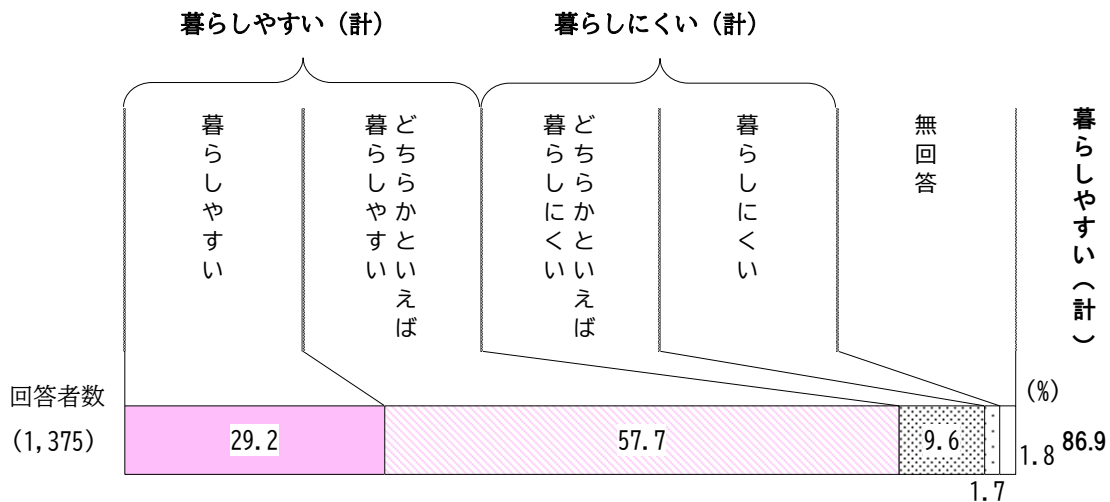
# 定 住 性

- 1 【暮らしやすい】は本設問を開始した以降で最も高くなりました。
- 2 住んでいる地域について感じていることを、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】の高い順でみると、以下のとおりです。
  - ① 〈普段の買い物が便利である〉(79.4%)
  - ② 〈落書きが減少したと感じる〉(73.2%)
  - ③ 〈通勤や通学などの交通の便が良い〉(72.4%)
  - ④ 〈快適で安全なまちである〉(63.6%)
- 3 【定住意向】は8割台半ばで前回調査をさらに上回り、5年連続で最高値を更新しました。



## 地域の暮らしやすさ

【暮らしやすい】は本設問を開始した以降で最も高い割合となり、【暮らしにくい】も同様に最も低い割合となりました。



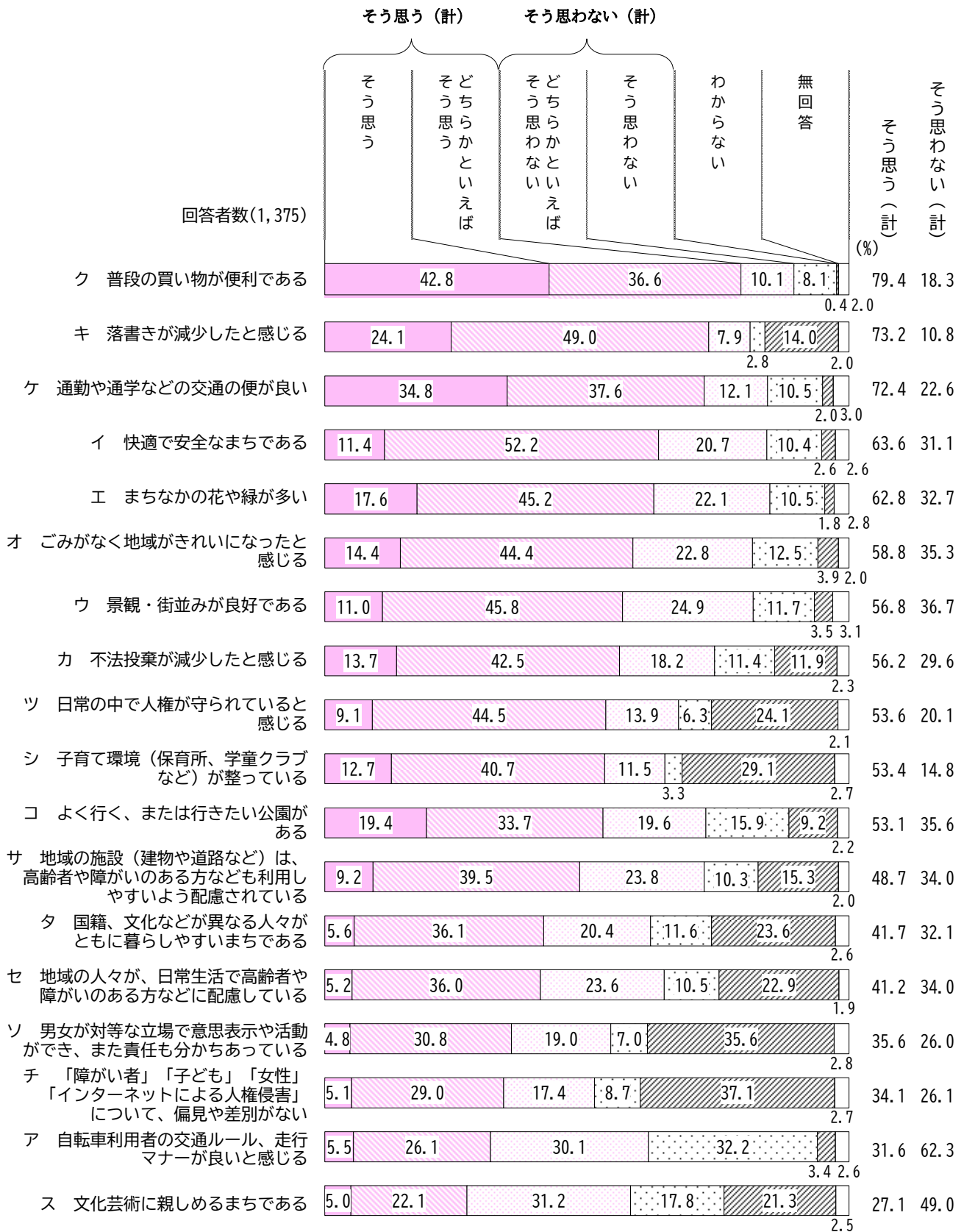
参考1：百分比(%)と百分比(%)を合わせる場合、本来の実数値を合わせて算出した百分比を記しているため、その百分比は紙面上の百分比の合計と合わない場合があります。

2：表題に(複数回答)と表記されている場合は、回答数に制限がないことを意味しています。



## 住まいの地域についての感じ方

「普段の買い物が便利である」と感じている人は、約8割となっています。

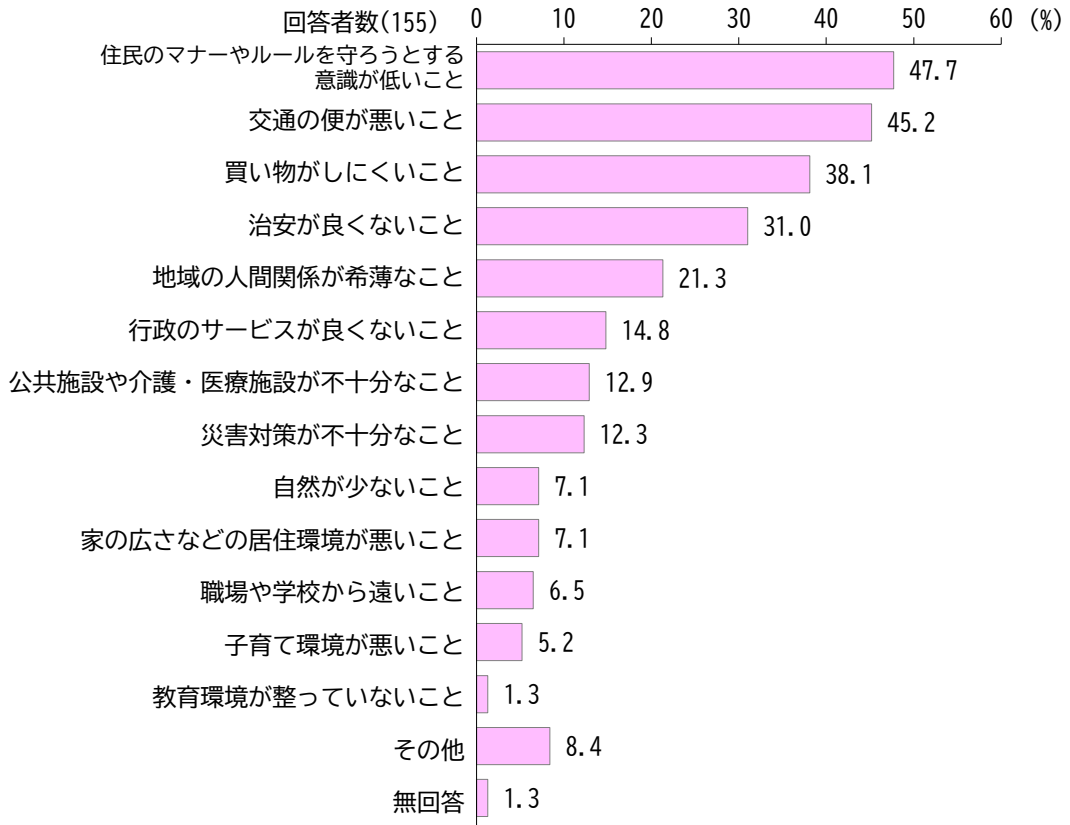




## 特に暮らしにくいと感じること(〇は3つまで)

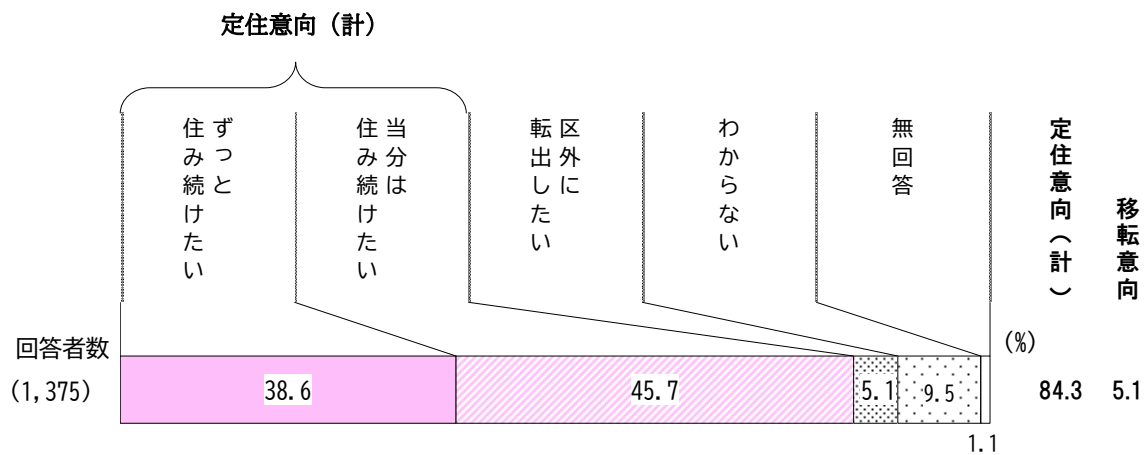
※【暮らしにくい】人の回答

“マナーやルールへの意識の低さ”が4割台半ばと6年連続で最も高くなっています。



## 定住意向

【定住意向】は8割台半ばで前回調査をさらに上回り、5年連続で最高値を更新しました。



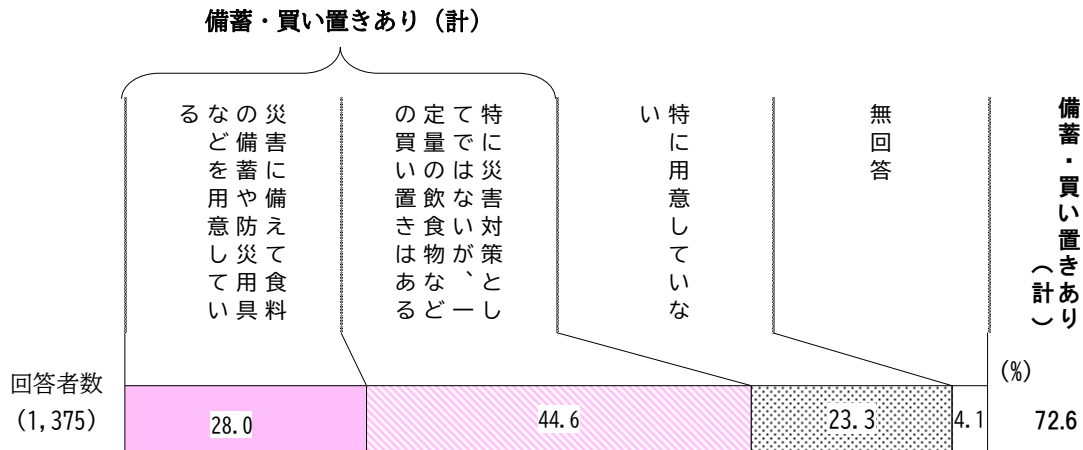
# 大震災などの災害への備え

- 1 災害に備えての準備状況については、「特に災害対策としてではないが、一定量の飲食物などの買い置きはある」が44.6%で最も高く、「災害に備えて食料の備蓄や防災用具などを用意している」が28.0%となっています。これらを合わせた【備蓄・買い置きあり】は72.6%となっています。
- 2 災害に備えて「特に用意していない」は23.3%となっています。
- 3 前回調査と比較すると、【備蓄・買い置きあり】は前回調査（76.1%）から3.5ポイント減少しています。



## 備蓄や防災用具などの用意

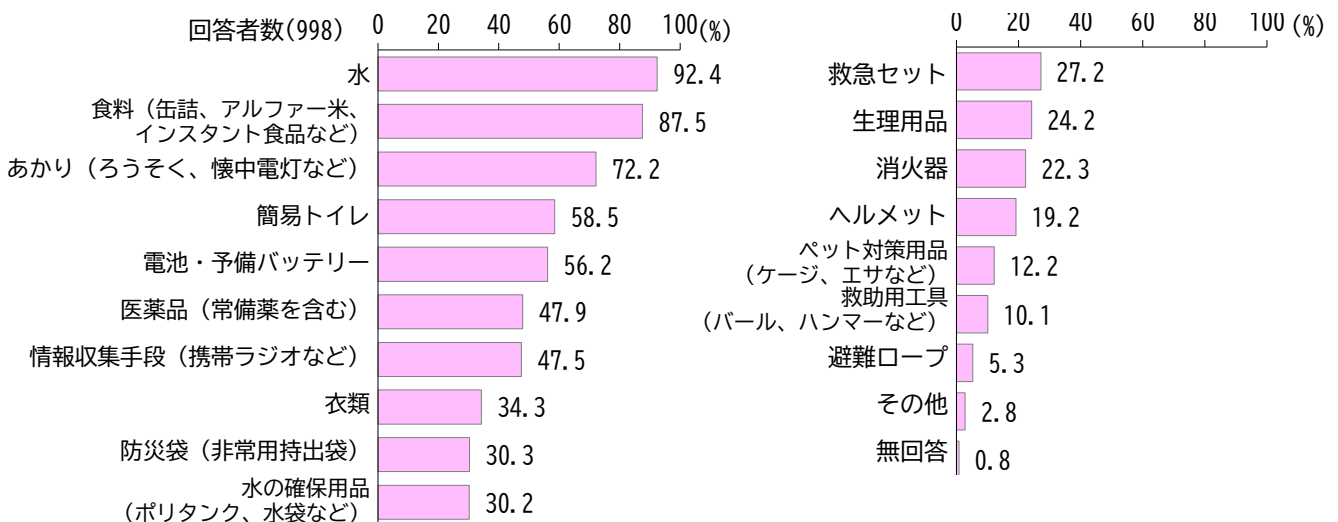
【備蓄・買い置きあり】は前回調査から3.5ポイント減少するも7割台半ば近くとなっています。



## 備蓄や防災用具、買い置きなどの内容(複数回答)

※【備蓄・買い置きあり】の人の回答

「水」が9割台半ば近く、「食料」が8割台半ば超、「あかり」が7割台半ば近くとなっています。

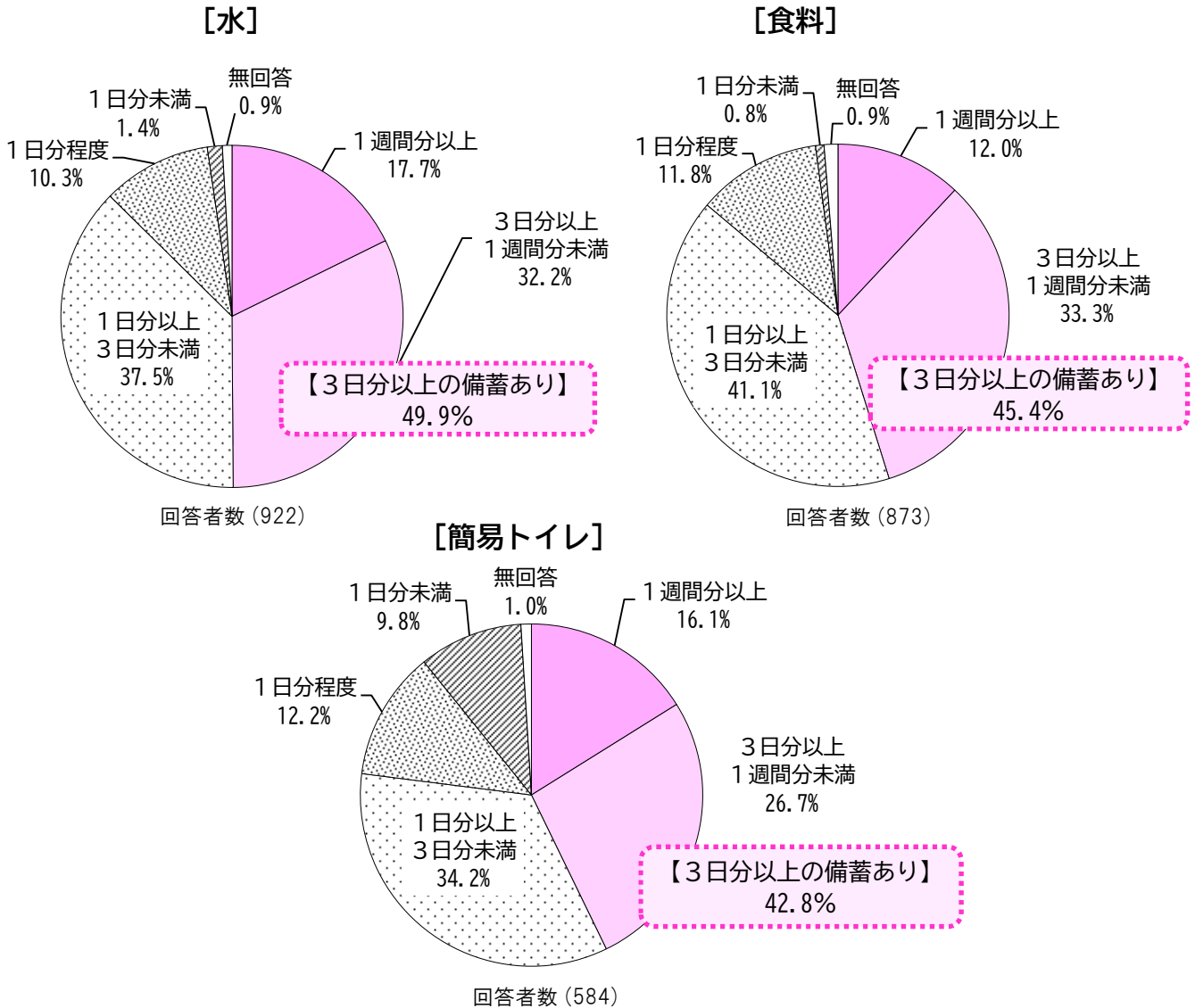




## 備蓄量

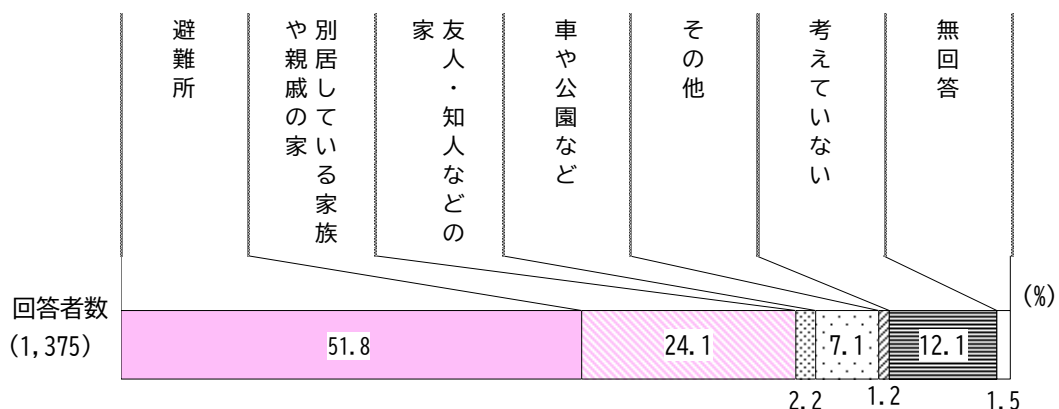
※【備蓄・買い置きあり】の人の備蓄量の回答

【3日分以上の備蓄あり】は「水」が約5割、「食料」が4割台半ば、「簡易トイレ」が4割台半ば近くとなっています。



## 大規模災害時の避難生活場所

「避難所」が5割超で最も高く、前年との大きな違いはないものの、この4年間では漸増傾向となっています。



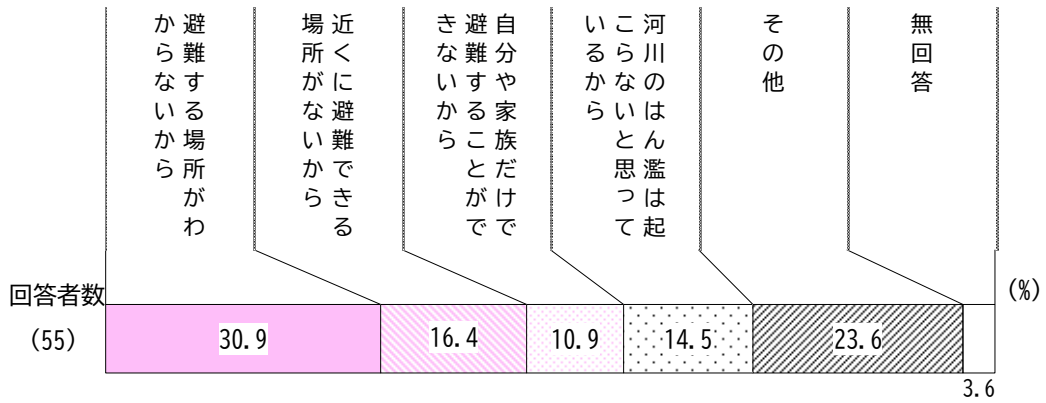




## 事前に避難場所を決めていない理由

※【事前に決めていない】人の回答

避難場所を事前に決めていない理由は、「避難する場所がわからないから」が3割、「その他」が2割台半ば、「近くに避難できる場所がないから」が1割台半ばとなっています。





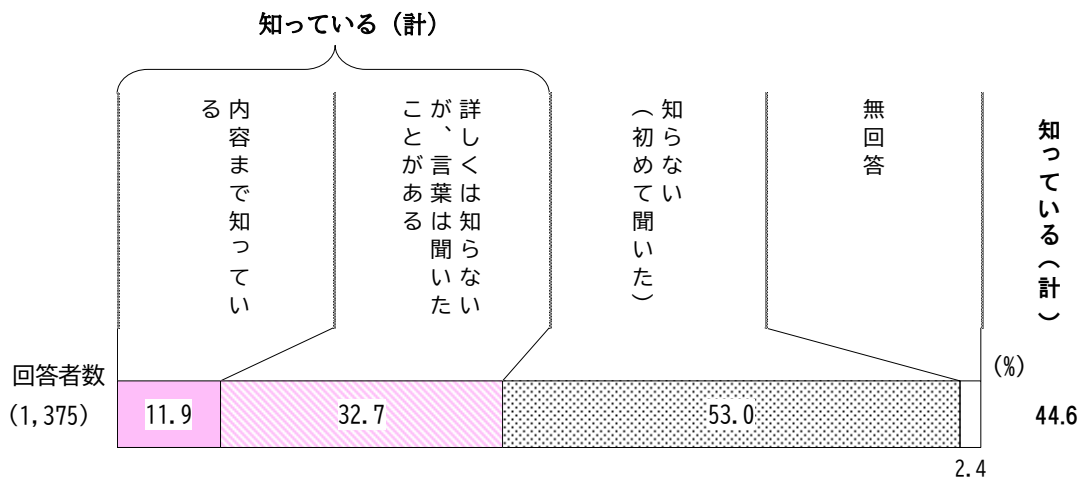
# 健康

- 1 区のキャッチフレーズ『あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～』について、「内容まで知っている」は11.9%で、これに「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」(32.7%)を合わせた【知っている】は44.6%となっています。
- 2 区のキャッチフレーズを「知らない(初めて聞いた)」は53.0%となっています。
- 3 前回調査と比較すると、【知っている】は3.7ポイント減少しており、令和3年度以降上昇が続いていましたが、今回調査で下降となりました。



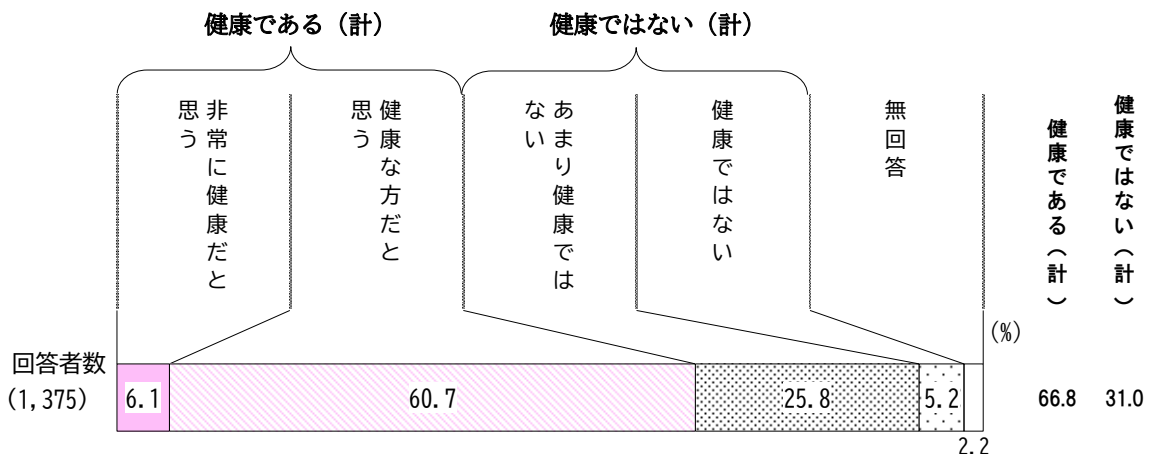
## 区のキャッチフレーズの認知状況

区のキャッチフレーズを【知っている】は4割台半ばで前年から下降しました。



## 自分の健康自認度

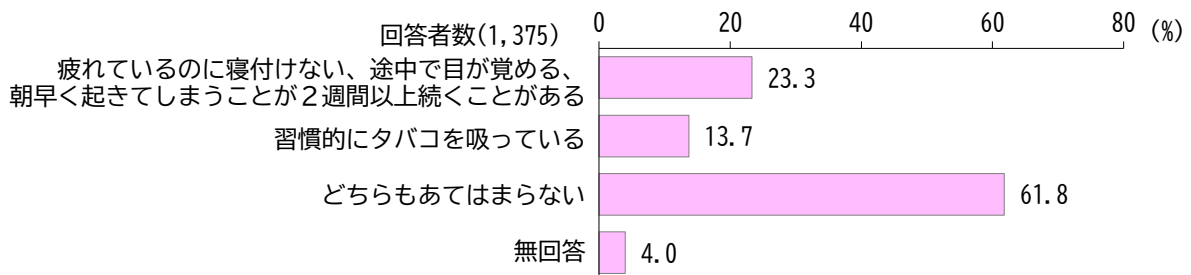
自分は【健康である】と自認している人は6割台半ばとなっています。





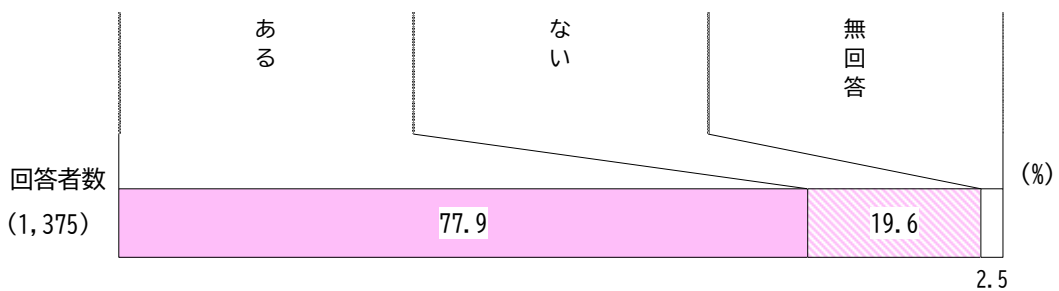
## 体調や習慣(複数回答)

体調や習慣では、「疲れているのに寝付けない、途中で目が覚める、朝早く起きてしまうことが2週間以上続くことがある」が2割台半ば、「習慣的にタバコを吸っている」が1割台半ば、「どちらもあてはまらない」が6割超となっています。



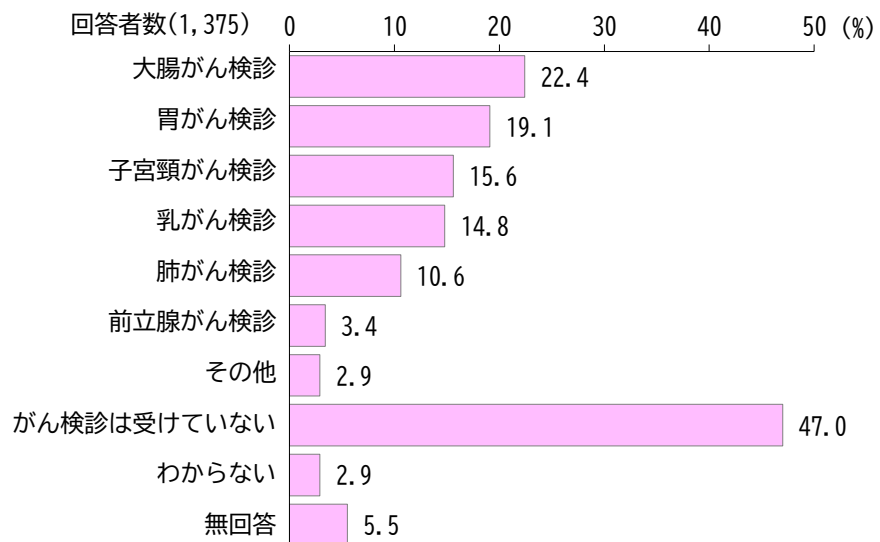
## 医療必要時にかかりたいと思う身近な医療機関の有無

「ある」が7割台半ば超、「ない」が約2割となっています。



## がん検診の受診状況と受けたがん検診の種類(複数回答)

【がん検診を受けた】(44.6%)は「がん検診は受けていない」(47.0%)をわずかに下回っています。受けたがん検診の種類は、「大腸がん検診」、「胃がん検診」、「子宮頸がん検診」の順となっています。



## スポーツ・読書

1 運動・スポーツの実践頻度別の割合は、頻度の高い順に以下のとおりとなっています。

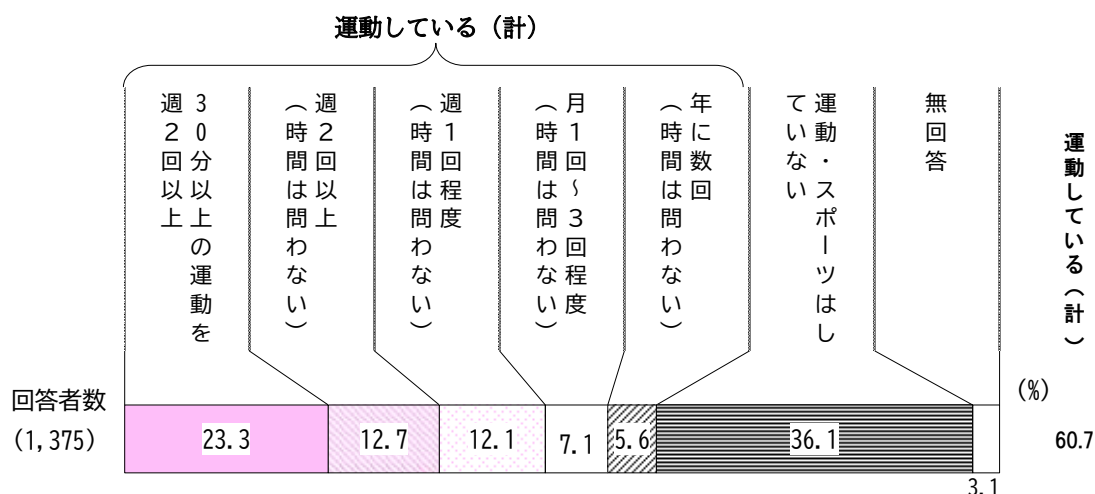
- ①「30分以上の運動を週2回以上」(23.3%)
- ②「週2回以上(時間は問わない)」(12.7%)
- ③「週1回程度(時間は問わない)」(12.1%)
- ④「月1回～3回程度(時間は問わない)」(7.1%)
- ⑤「年に数回(時間は問わない)」(5.6%)

2 上記5項目を合わせた【運動している】は60.7%となっています。



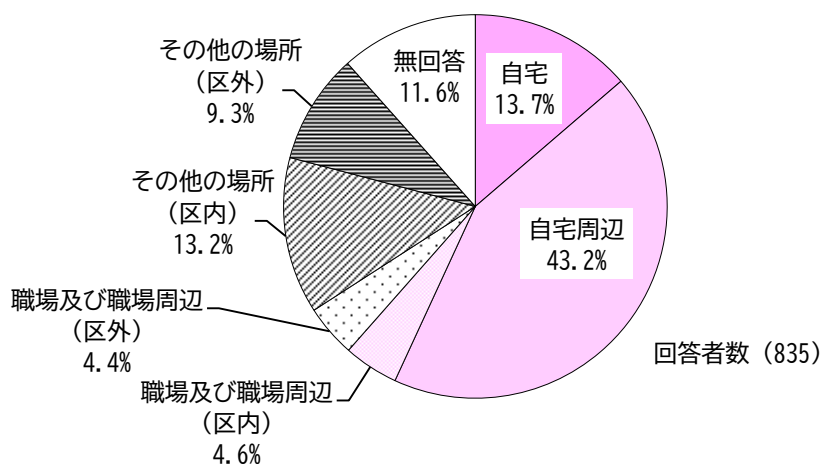
### 日常的な運動・スポーツの実施状況

【運動している】は6割で、「30分以上の運動を週2回以上」は2割台半ばとなっています。



### 運動・スポーツを最も多く行っている場所 ※「運動している(計)」人の回答

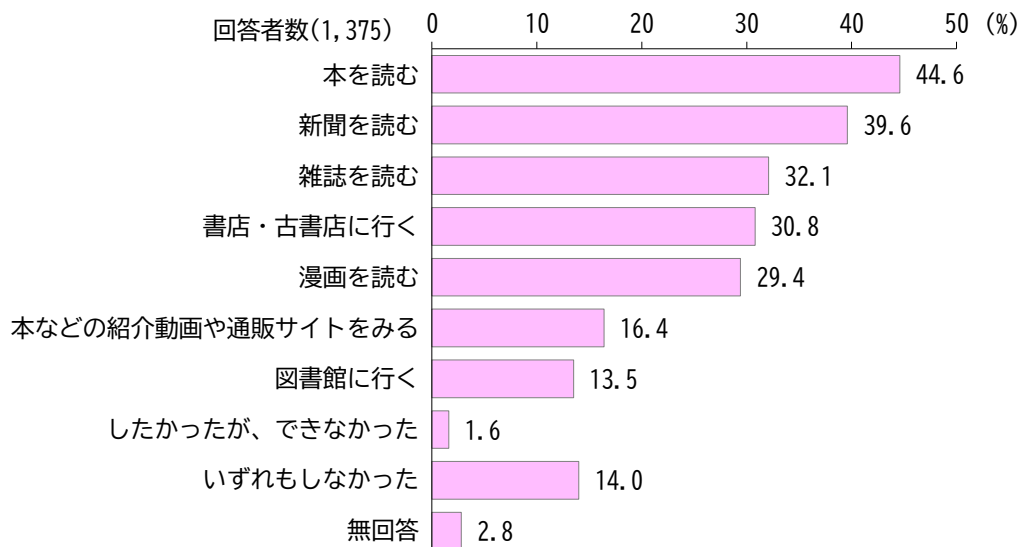
運動・スポーツの実施場所は、「自宅周辺」が4割台半ば近く、次いで「自宅」が1割台半ばとなっています。





## 読書に関わる行動状況(複数回答)

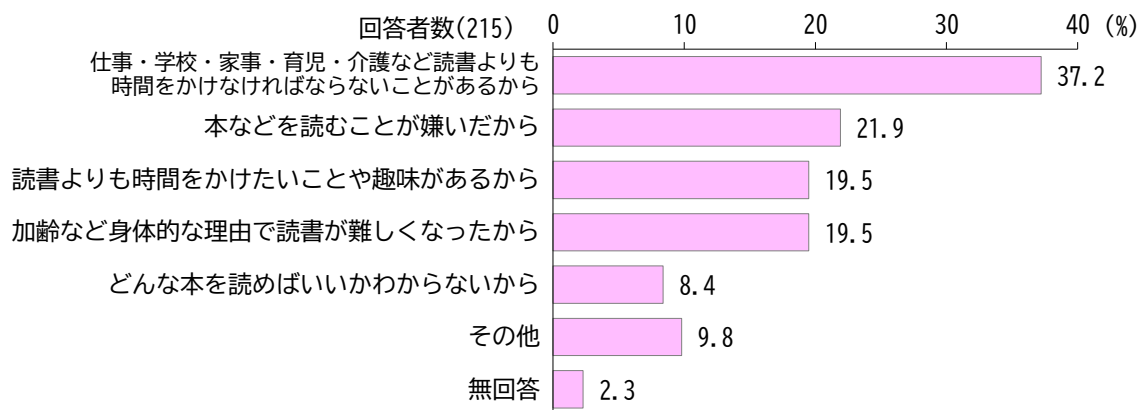
「本を読む」「新聞を読む」「雑誌を読む」の上位3項目の順位に変化はありませんでした。



## 読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由(複数回答)

※読書に関わる行動がなかった人の回答

「仕事・学校・家事・育児・介護など読書よりも時間をかけなければならないことがあるから」が37.2%となっています。



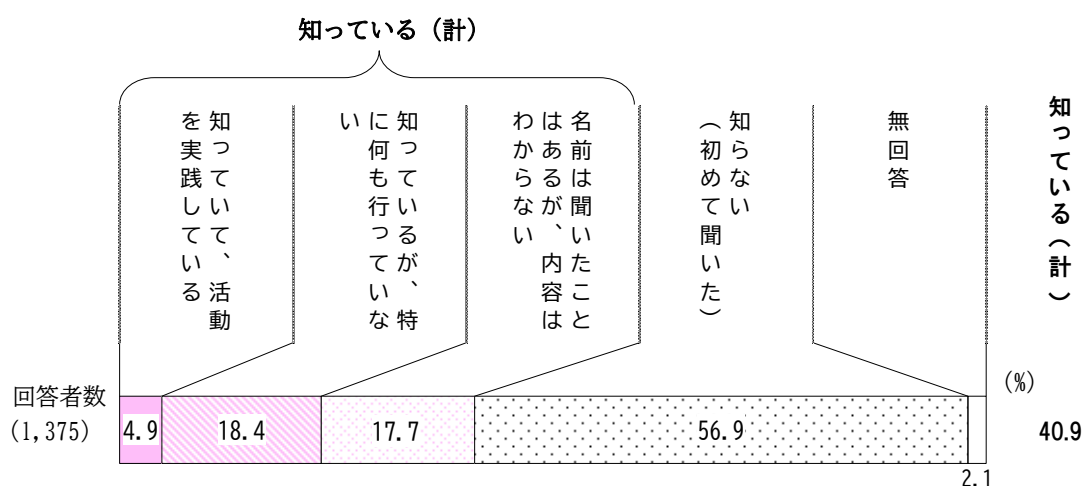
## ビューティフル・ウィンドウズ運動

- 1 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.9%で、これに「知っているが、特に何も行っていない」(18.4%)と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」(17.7%)を合わせた【知っている】は40.9%となっています。
- 2 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知らない(初めて聞いた)」は5割台半ばとなっています。



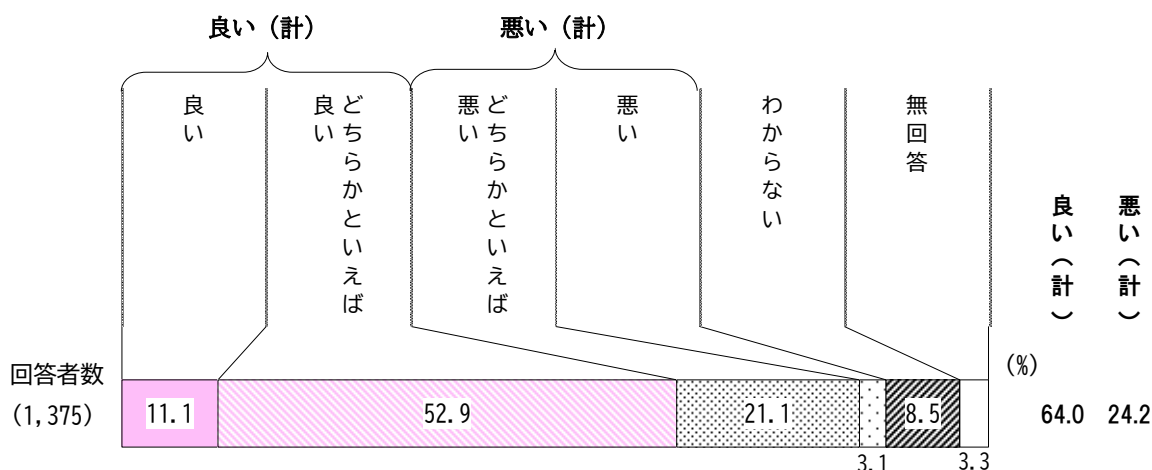
### 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

【知っている】が4割、「知らない(初めて聞いた)」が5割台半ばとなっています。



### 居住地域の治安状況

【良い】は6割台半ばで変わっていません。

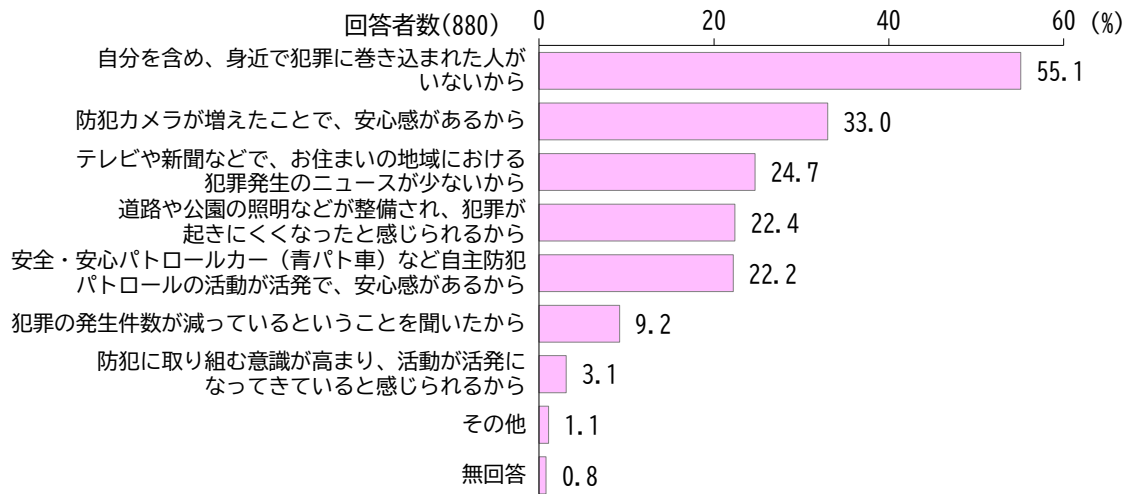




## 治安が良いと感じる点(○は2つまで)

※区内の治安が【良い】と感じる人の回答

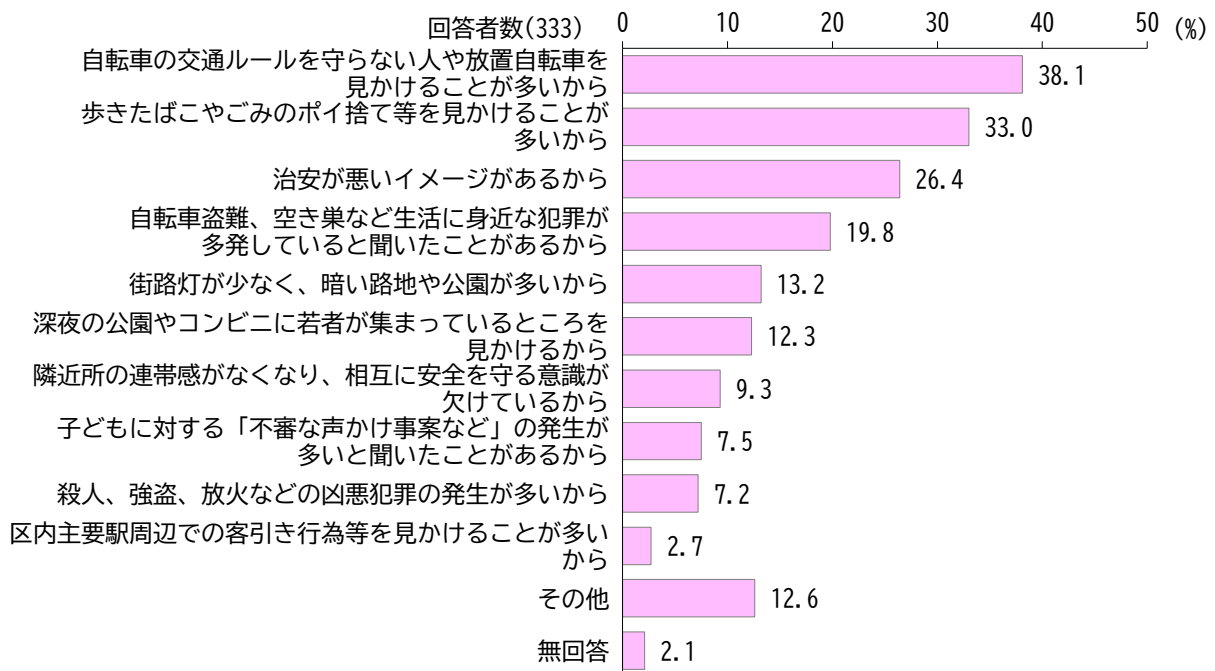
「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が5割台半ばで最も高くなっています。



## 治安が悪いと感じる点(○は2つまで)

※区内の治安が【悪い】と感じる人の回答

「自転車の交通ルールを守らない人や放置自転車を見かけることが多いから」が4割弱で1位、「歩きたばこやごみのポイ捨て等を見かけることが多いから」が3割台半ばで2位となっています。



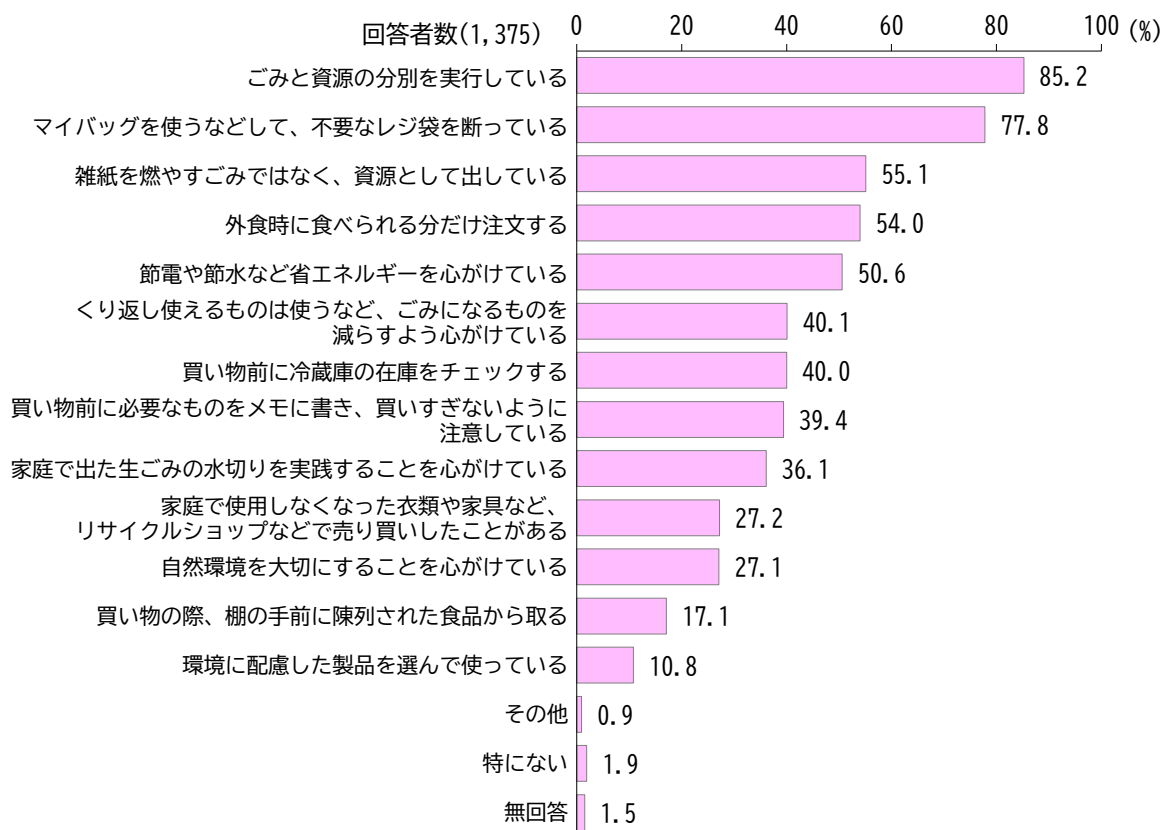
## 環境・地域活動

- 1 環境のために心がけていることの上位をみると、以下のとおりとなっています。
  - ①「ごみと資源の分別を実行している」(85.2%)
  - ②「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(77.8%)
  - ③「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」(55.1%)
  - ④「外食時に食べられる分だけ注文する」(54.0%)
  - ⑤「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(50.6%)
- 2 前回調査と比較すると「ごみと資源の分別を実行している」が3.8ポイント減少しているものの、他の項目では特に大きな違いは見られません。



### 環境のために心がけていること(複数回答)

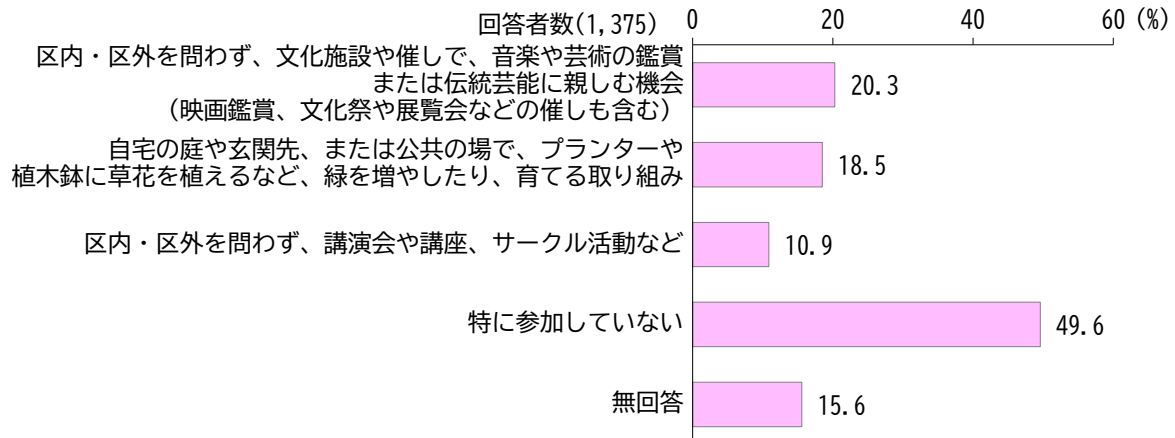
「ごみと資源の分別を実行している」が8割台半ば、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」が7割台半ば超となっています。





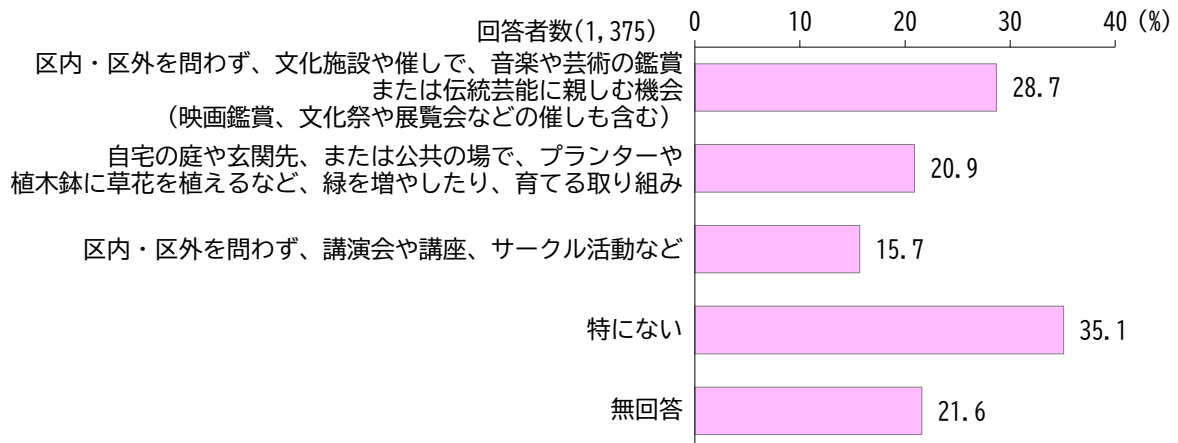
## この1年間に参加した活動(複数回答)

「特に参加していない」が49.6%で最も高くなっています。参加した活動では、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」が2割で高くなっています。



## 引き続き、または今後参加したいと思う活動(複数回答)

「特にない」が35.1%で最も高くなっています。引き続き、または今後参加したいと思う活動は、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」が3割近くで高くなっています。



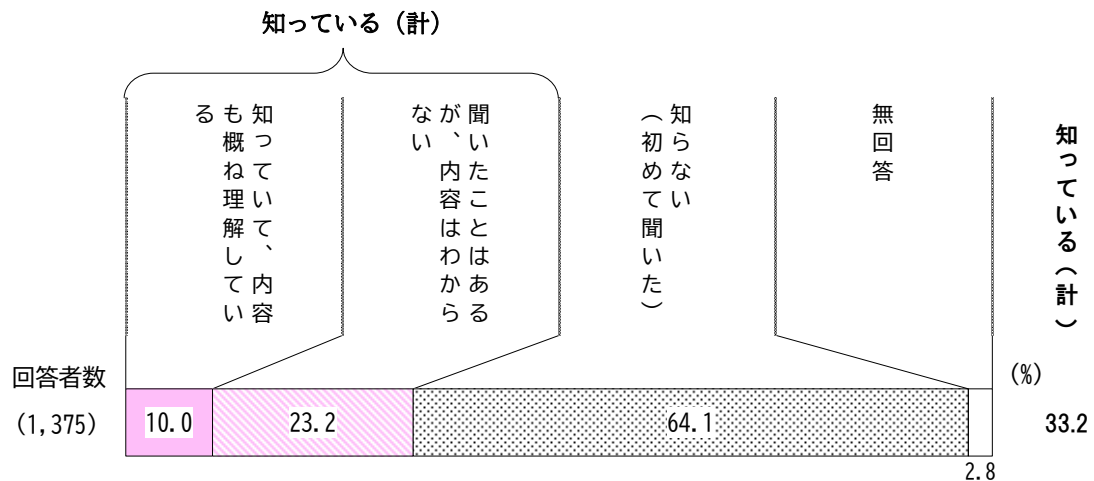
## 「孤立ゼロプロジェクト」など

- 1 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況は、「知っていて、内容も概ね理解している」が10.0%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の23.2%を合わせた【知っている】は33.2%となっています。
- 2 「孤立ゼロプロジェクト」を「知らない（初めて聞いた）」は64.1%を占めています。



### 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

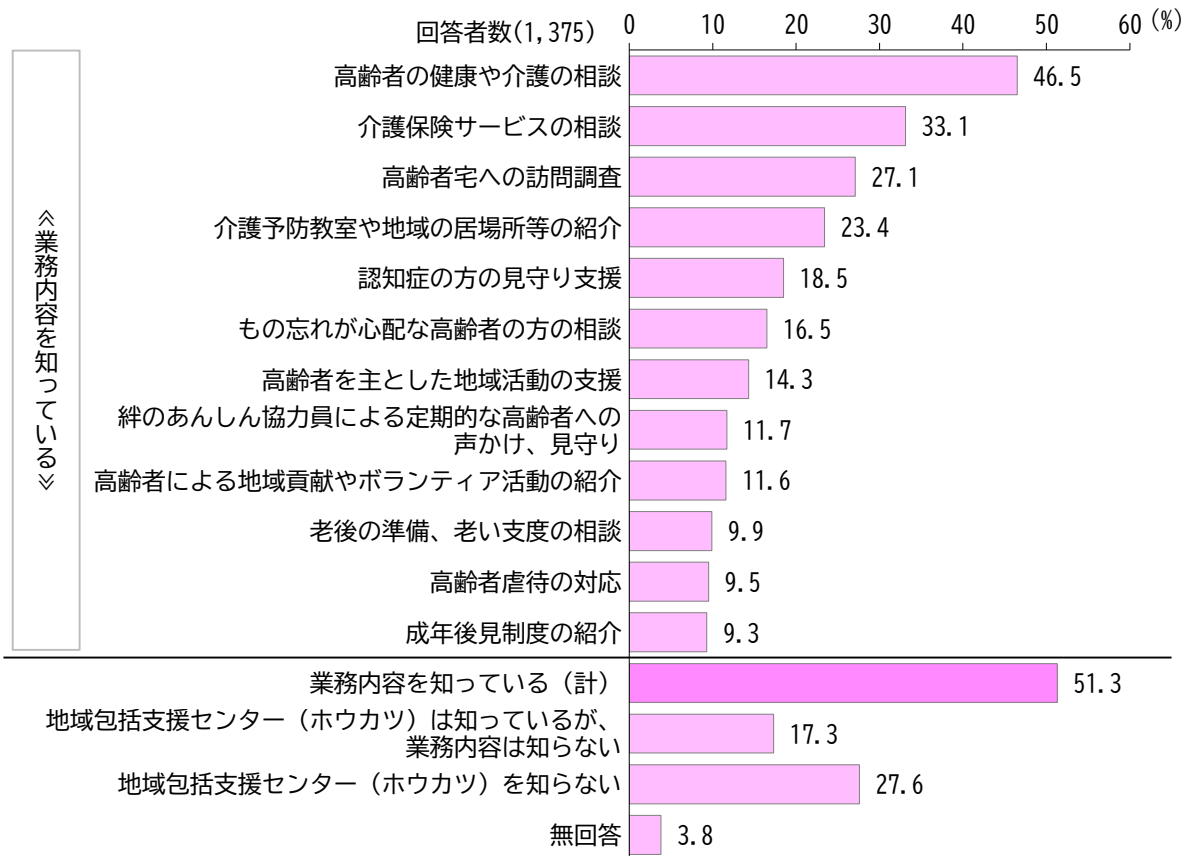
【知っている】は3割台半ばで、「知らない（初めて聞いた）」が6割台半ばとなっています。





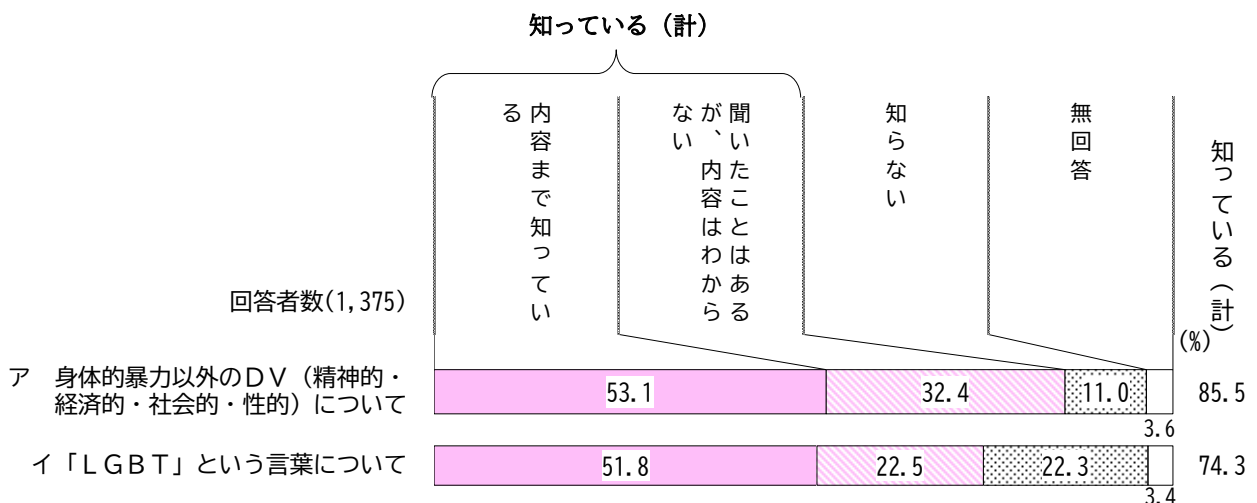
## 「地域包括支援センター」、及び業務内容の認知(複数回答)

【業務内容を知っている】が5割を超え、「地域包括支援センター（ホウカツ）を知らない」が2割台半ば超となっています。知っている業務内容は、「高齢者の健康や介護の相談」、「介護保険サービスの相談」、「高齢者宅への訪問調査」の順となっています。



## 「身体的暴力以外のDV」「LGBT」の認知状況

【知っている】は〈身体的暴力以外のDV〉が8割台半ば、〈LGBT〉が7割台半ばとなっています。



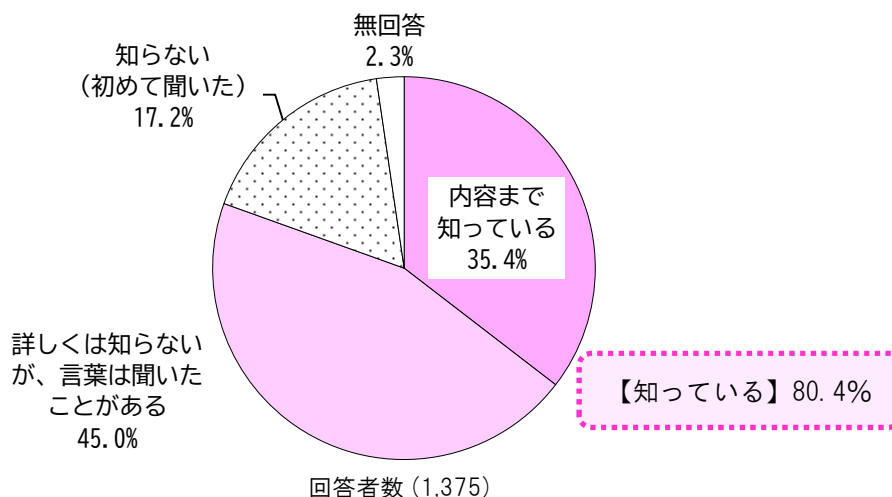
## 「SDGs」・「協働・協創」

- 「SDGs」について「内容まで知っている」が35.4%で、これに「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことはある」(45.0%)を合わせた【知っている】は80.4%となっています。一方、「知らない(初めて聞いた)」は17.2%です。
- 前回調査との比較では、【知っている】が3.3ポイント増加し、「知らない(初めて聞いた)」が3.3ポイントの減少となっています。



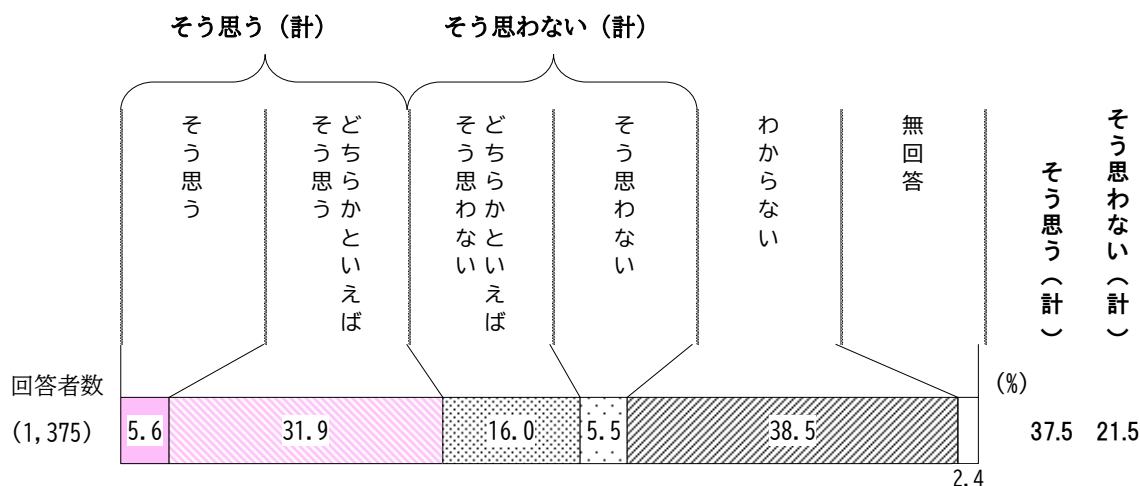
### SDGsの認知状況

「内容まで知っている」が35.4%で、【知っている】が8割となっています。



### 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

【そう思う】が3割台半ば超、【そう思わない】が2割強、「わからない」が4割弱となっています。



## 区への取り組み

1 区に対する気持ちについて計5項目にわたって聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】を高い順にみると、以下のとおりでした。

- ① 〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉 (76.2%)
- ② 〈足立区に愛着をもっている〉 (72.2%)
- ③ 〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉 (52.2%)
- ④ 〈足立区を人に勧めたい〉 (47.1%)
- ⑤ 〈足立区に誇りをもっている〉 (44.7%)

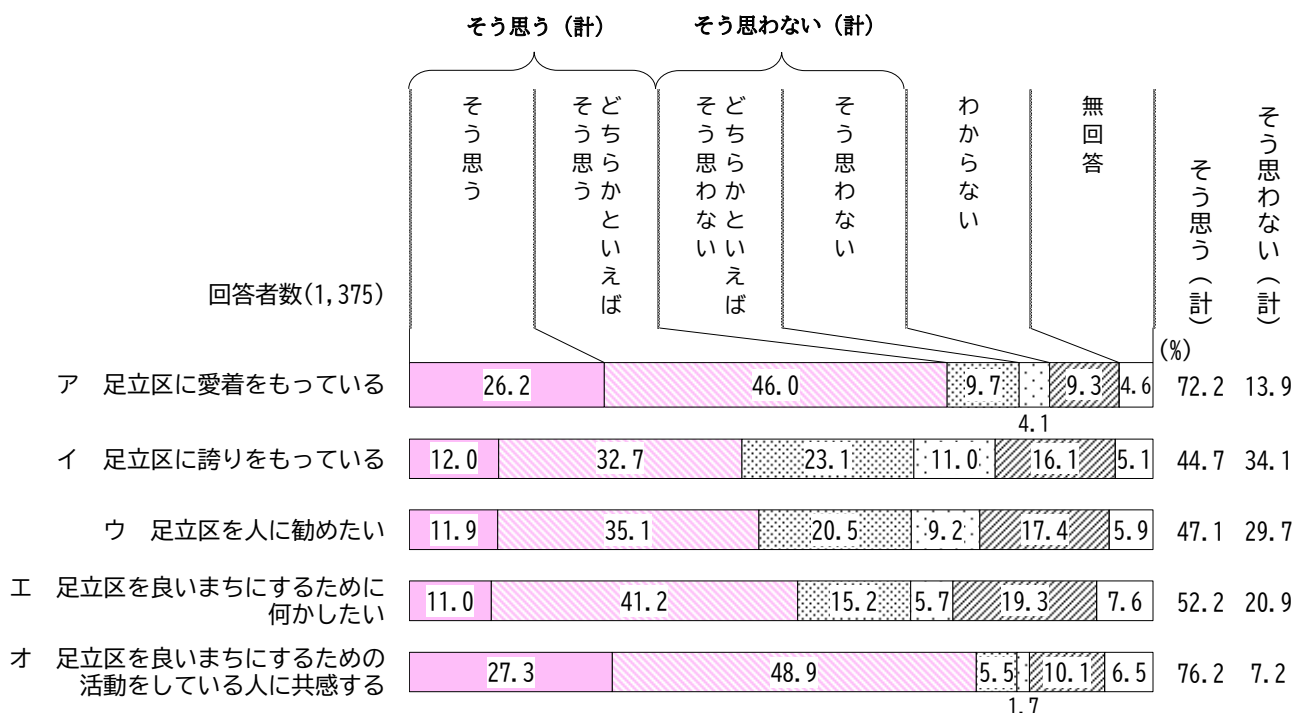
2 区への取り組みについて、満足している分野、不満な分野、今後特に力を入れてほしい分野を聞いたところ、それぞれの上位5分野は、以下のとおりでした。

	満足している分野		不満な分野		今後力を入れてほしい分野	
1	情報提供	43.1%	交通対策	21.1%	交通対策	36.8%
2	自然・緑化対策	35.6	都市開発	12.2	防災対策	33.2
3	保健衛生対策	27.7	住環境対策	11.7	高齢者支援	31.3
4	職員の接客態度	21.7	自然・緑化対策	10.5	都市開発	28.2
5	高齢者支援	21.1	高齢者支援	9.1	自然・緑化対策	24.5



### 区に対する気持ち

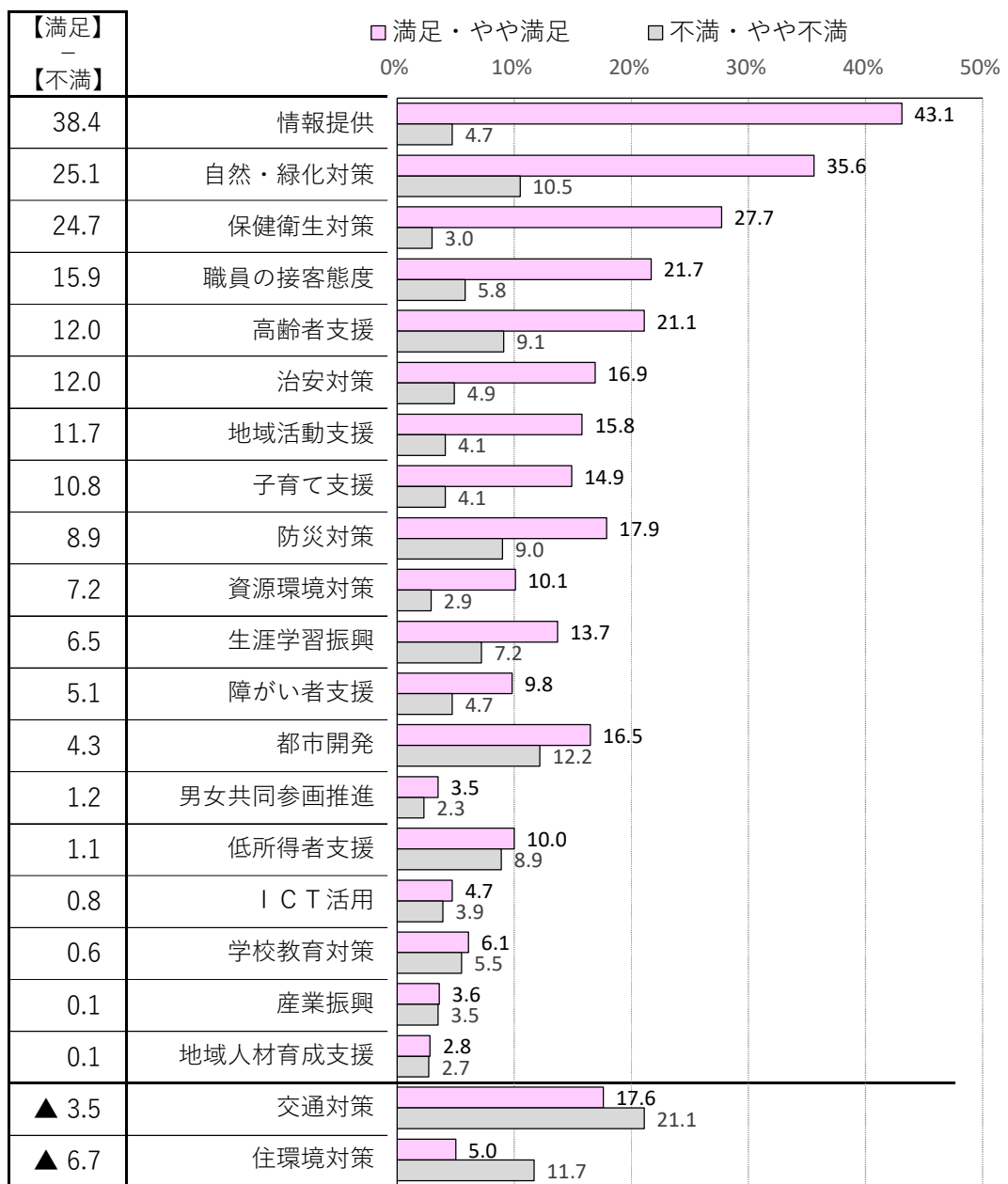
区に対する気持ちについて【そう思う】は、“足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する”が76.2%で最も高く、以下“足立区に愛着をもっている”（72.2%），“足立区を良いまちにするために何かしたい”（52.2%），“足立区を人に勧めたい”（47.1%），“足立区に誇りをもっている”（44.7%）となっています。





## 区の取り組み(分野)に対する評価(【満足割合】-【不満割合】)

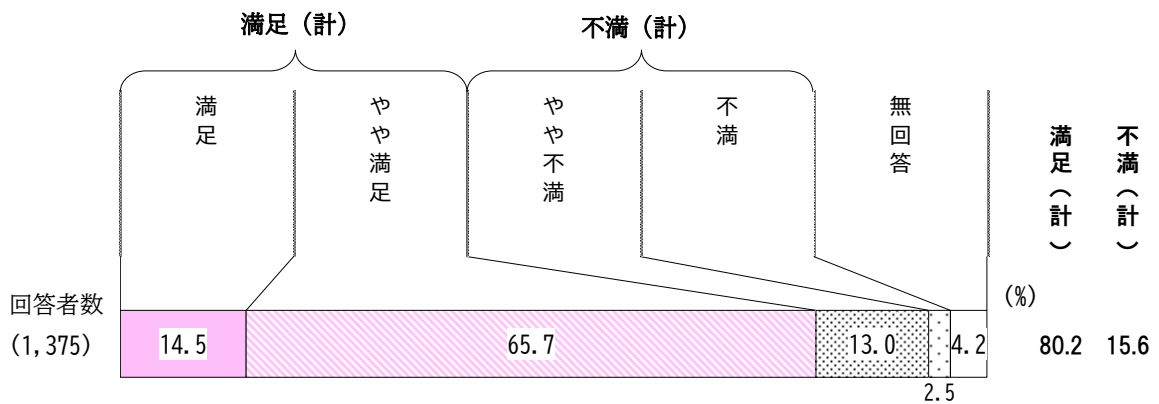
- ・【満足評価割合】の方が【不満評価割合】より大きい取り組み(上位5位)  
「情報提供」(+38.4pt)、「自然・緑化対策」(+25.1pt)、「保健衛生対策」(+24.7pt)、「職員の接客態度」(+15.9pt)、「高齢者支援」と「治安対策」(各+12.0pt)
- ・【不満評価割合】の方が【満足評価割合】より大きい取り組み  
「住環境対策」(-6.7pt)、「交通対策」(-3.5pt)
- ・「交通対策」については、【満足評価割合】が21項目中7番目に高いが、【不満評価割合】が最も高いため、評価としては、《不満割合が高い取り組み》となっています。





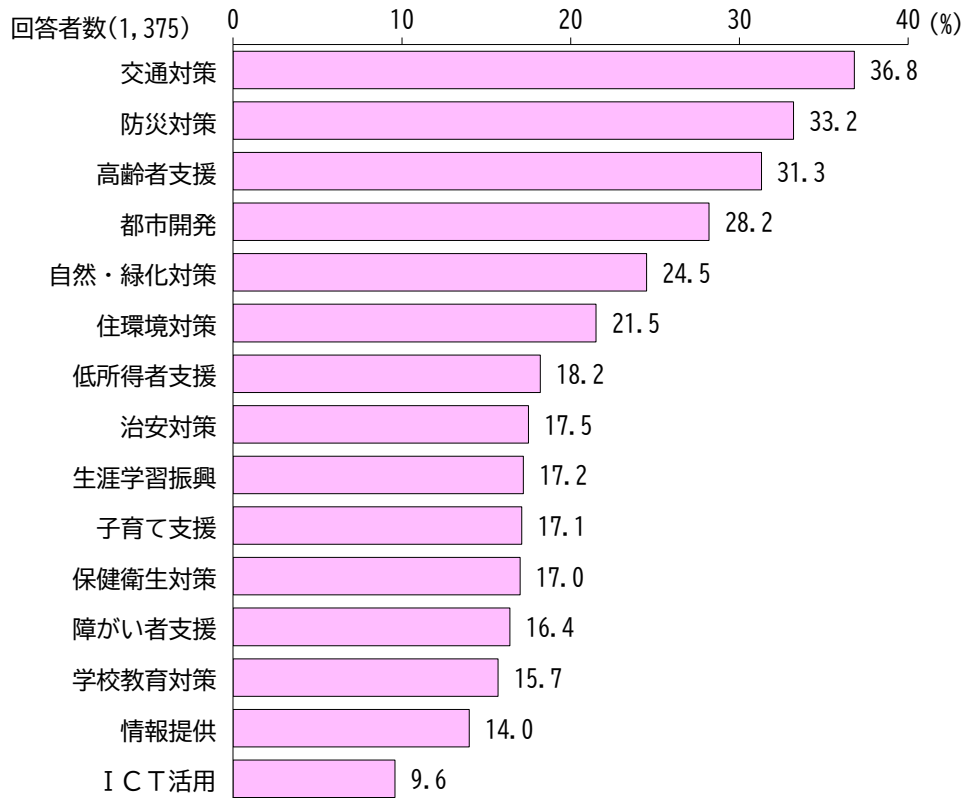
## 区政に対する満足度

【満足】は8割で、平成25年の設問開始以降で最も高い割合となっています。



## 今後特に尽力してほしい取り組み分野(複数回答) ※上位 15分野

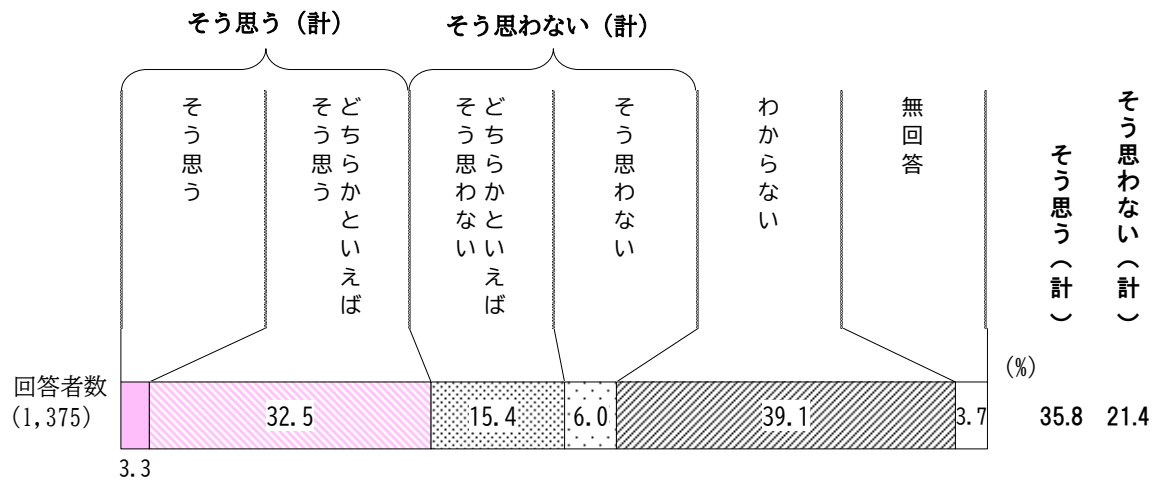
「交通対策」が3割半ばで最上位、次いで「防災対策」「高齢者支援」が3割台が続いています。





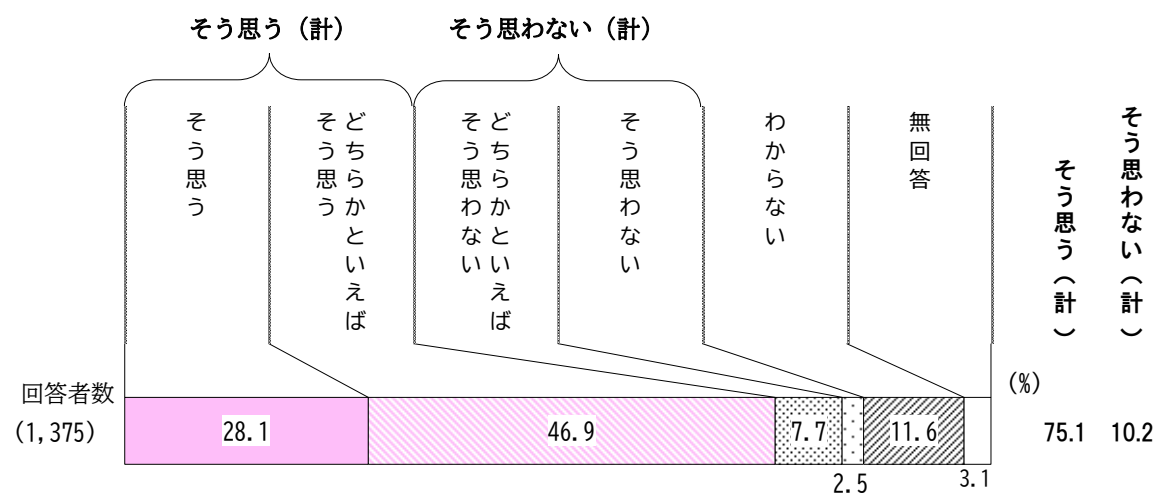
## 区政への区民意見の反映度

区政への区民意見の反映度について、【そう思う】は前回調査から2.0ポイント増加し35.8%となっています。



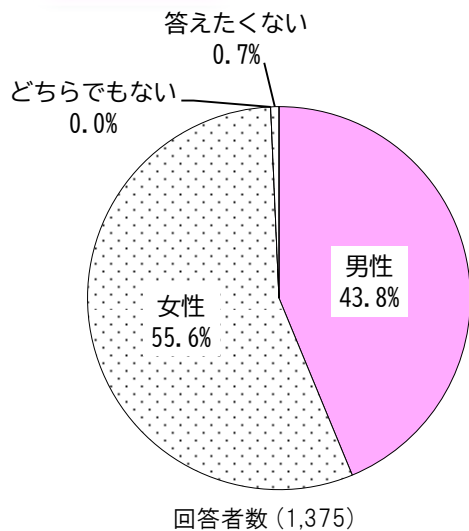
## 本調査内容が区民のニーズ・意識把握に対する有効度

本調査が区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思うかについて、【そう思う】は75.1%で、【そう思わない】は10.2%となっています。

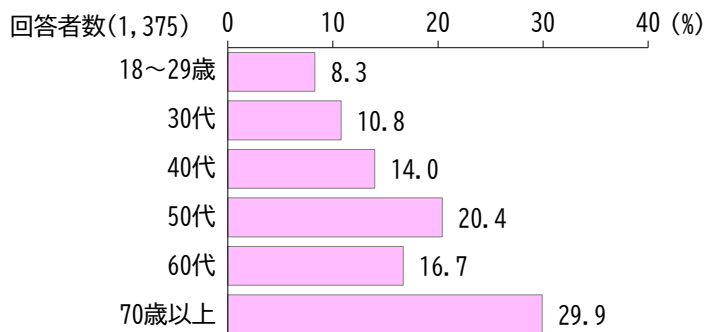


# 回答者の構成

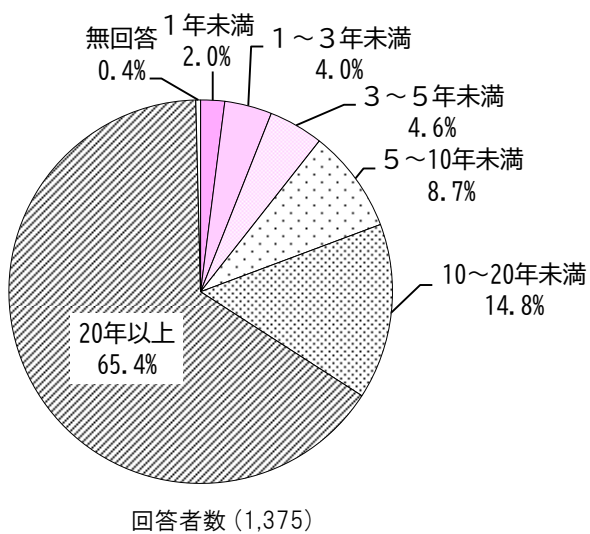
## 性別



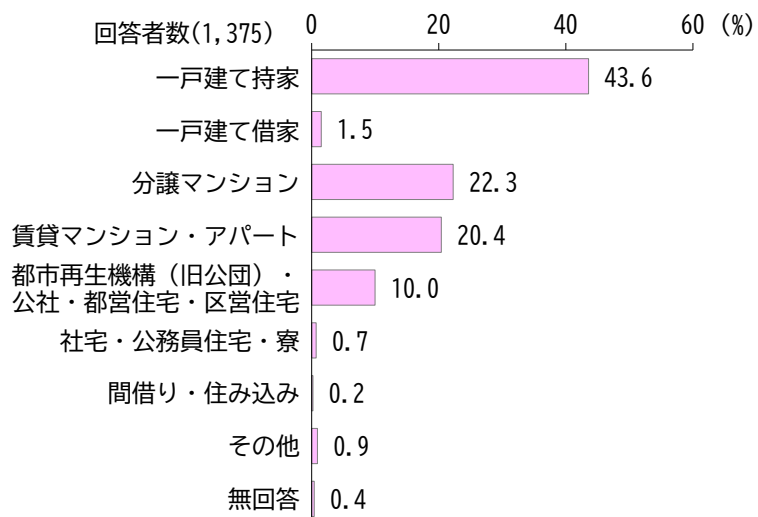
## 年齢



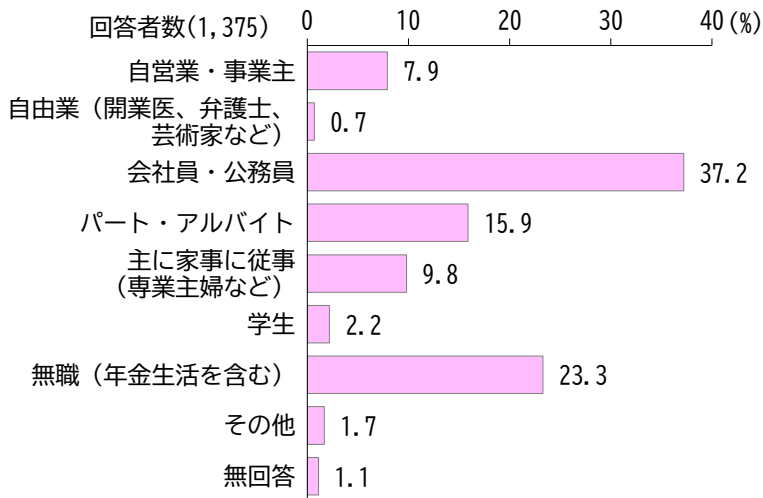
## 居住年数



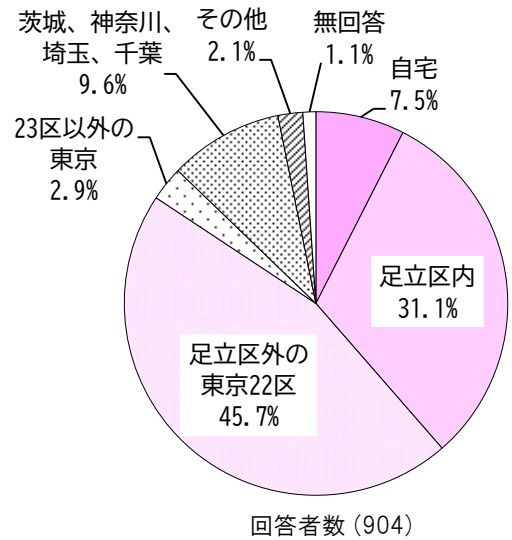
## 住居形態



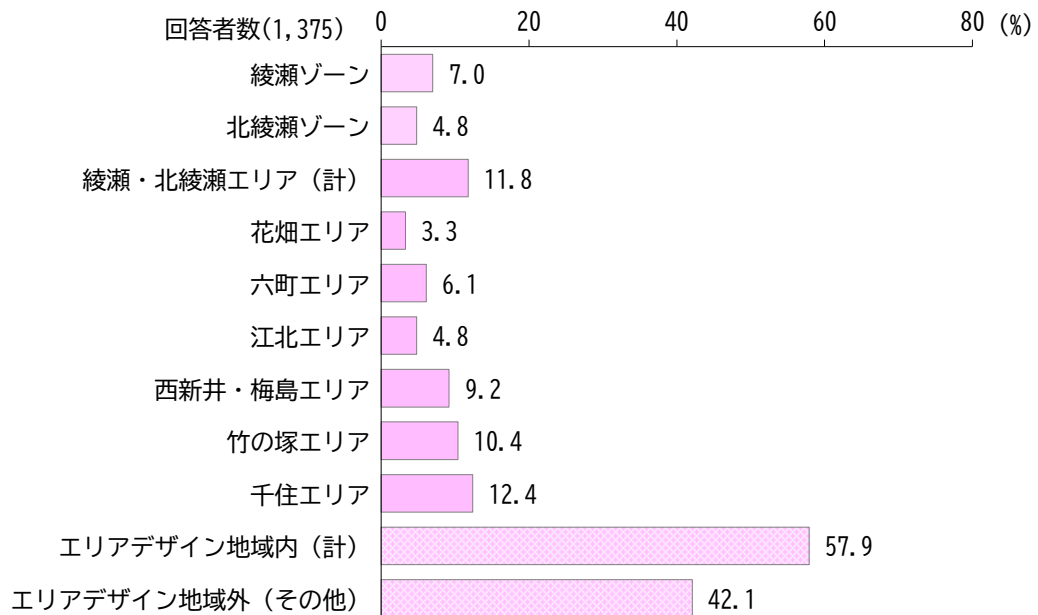
## 職業



## 就労(就学)場所



## エリアデザイン

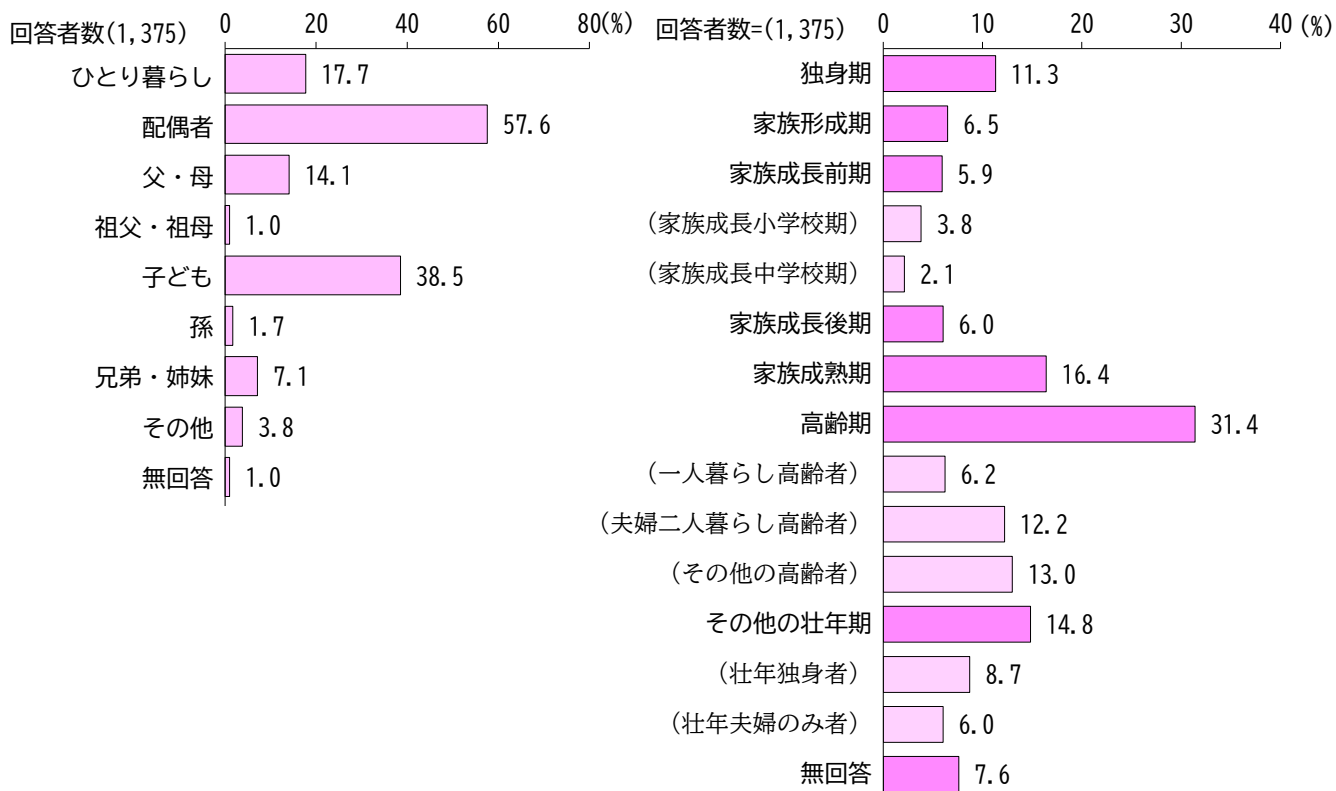




## 同居家族(複数回答)



## ライフステージ



### 《 ライフステージの定義 》

#### ライフステージ別 (7 カテゴリー)

- ・ 独身期 40歳未満の独身者
- ・ 家族形成期 40歳未満で子どものいない夫婦、または本人が64歳以下で一番上の子どもが小学校入学前の人
- ・ 家族成長前期 本人が64歳以下で一番上の子どもが小・中学生の人
  - (家族成長小学校期) 本人が64歳以下で一番上の子どもが小学生の人
  - (家族成長中学校期) 本人が64歳以下で一番上の子どもが中学生の人
- ・ 家族成長後期 本人が64歳以下で一番上の子どもが高校生・大学生の人
- ・ 家族成熟期 本人が64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- ・ 高齢期 本人が65歳以上の人
  - (一人暮らし高齢者) 本人が65歳以上で一人暮らしの人
  - (夫婦二人暮らし高齢者) 本人が65歳以上で夫婦二人暮らしの人
  - (その他の高齢者) 本人が65歳以上で一人暮らし、夫婦二人暮らし以外の人
- ・ その他の壮年期 本人が40歳～64歳で独身、または本人が40歳～64歳で子どものいない夫婦
  - (壮年独身者) 本人が40歳～64歳で独身
  - (壮年夫婦のみ者) 本人が40歳～64歳で子どものいない夫婦

足立区の面積 53.25km<sup>2</sup>  
人口 703,369人  
世帯 386,004世帯

\*令和8年1月1日現在



足立区は、東京都 23 区の最北端に位置し、区域の総面積は 23 区域総面積の約一割にあたり大田区、世田谷区について第三位の広さです。東は葛飾区に、西は北区、埼玉県川口市に、南は葛飾区、墨田区、荒川区に、北は埼玉県川口市、草加市並びに八潮市にそれぞれ隣接しています。



## 足立区 政策経営部 区政情報課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1  
TEL 03(3880)5111(代)

知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI



世論調査報告書の《概要版》、本編、《集計表》は足立区ホームページでもご覧いただけます。  
ホームページアドレス<https://www.city.adachi.tokyo.jp> 足立区 政策経営部 区政情報課

この概要版は再生紙を使用しています。